

# 日韓の海女撮影 鳥羽で30点展示

中国出身の男性

伊勢志摩や韓国・済州島の海女たちを撮り続けている鳥羽市安楽島町のホテル従業員、李相海さん(44)の写真展「海女礼賛」が、鳥羽市大明西町の鳥羽ショッピングプラザ・ハローで開かれている。26日まで。

李さんは中国東北部で生まれ、大学卒業後に三重大に留学。自動車部品メーカー勤務を経て2007年、鳥羽市の鳥羽シーサイド

ドホテルに就職した。翌年、同市の離島・



神島を舞台にした映画で、中国でも著名な山口百恵さんが海女を演じた「潮騒」のロケ地巡りに参加し、海女への関心が広がった。

今回で3回目の写真展では、伊勢志摩を中心とした海女漁や祭り、撮影会、岩手県久慈市の北限の海女フェスティバル、千葉県房総半島の白浜海女まつりなど10年から今年4月までに写した21点と、今年3〜4月に訪れた済州島の海女の写真9点の計30点を展示した。

李さんは「素潜り漁で生きてきた海女は日

海女たちを撮影した写真を前にする李相海さん。鳥羽市の鳥羽ショッピングプラザ・ハローで

本と韓国にしか存在しない。早くユネスコの無形文化遺産に登録され、海女文化が末永く守り伝えられてほしい」と話し、来場を呼びかけている。無料。

【林一茂】